

第 38 回建設業経理士 1 級財務分析 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。
問 1

キャッシュ・フロー分析とは、企業の資金管理を適切に行い、企業活動の実態を把握する上で不可欠な分析である。☆発生主義会計の下では、収益・費用の計上時期と現金の収入・支出時期にはズレがある。☆また、費用の中には、非現金支出費用があり、企業活動の結果生じる損益と現金等は必ずしも一致しない。☆そのため、企業の損益面での業績が良くても資金繰りが適切に行われないと、黒字倒産に陥ることがある。☆また、貸借対照表の現金預金の推移を見ても、その増減要因を把握することができないため、☆キャッシュ・フロー分析が必要となる。

問 2

キャッシュ・コンバージョン・サイクルとは、企業の仕入、販売、代金回収活動に関する回転期間を総合的に判断する指標である。☆代金回収までの日数を示す棚卸資産回転日数と売上債権回転日数の合計から、☆代金支払いまでの日数を表す仕入債務回転日数を控除することで、運転資本が必要な日数が計算される。☆通常、代金回収までの期間は短く、代金支払までの期間は長い方が資金を有効活用できるので、キャッシュ・コンバージョン・サイクルは短い方が望ましいとされているが、☆業種や取引慣行によって最適とされる日数は異なる。☆

予想採点基準

☆の前の文の内容が正解で
☆… 2 点 × 10 = 20 点

〔第 2 問〕

記号 (T 又は F)

1	2	3	4	5
F	F	T	T	F

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

予想採点基準

☆… 3 点 × 5 = 15 点

〔第 3 問〕

(A) ☆ 122,800 百万円 (百万円未満を切り捨て)

(B) ☆ 2,400 百万円 (同 上)

(C) ☆ 49,600 百万円 (同 上)

(D) ☆ 8,400 百万円 (同 上)

立替工事高比率 ☆ 37.38 % (小数点第 3 位を四捨五入し、第 2 位まで記入)

予想採点基準

☆… 4 点 × 5 = 20 点

〔第 4 問〕

問 1 ☆ 101,120 千円 (千円未満を切り捨て)

問 2 ☆ 215,000 千円 (同 上)

問 3 ☆ 31.96 % (小数点第 3 位を四捨五入し、第 2 位まで記入)

問 4 ☆ 380,000 千円 (千円未満を切り捨て)

問 5 ☆ 390,500 千円 (同 上)

予想採点基準

☆… 3 点 × 5 = 15 点

〔第 5 問〕

問 1

- A 自己資本事業利益率 ☆ 6.44 % (小数点第 3 位を四捨五入し、第 2 位まで記入)
- B 流動負債比率 ☆ 50.84 % (同 上)
- C 必要運転資金月商倍率 ☆ 0.14 月 (同 上)
- D 負債回転期間 ☆ 4.45 月 (同 上)
- E 経営資本回転率 ☆ 1.24 回 (同 上)
- F 完成工事高増減率 ☆ 23.71 % (同 上) 記号(A 又は B) A
- G 営業キャッシュ・フロー対流動負債比率 ☆ 8.73 % (同 上)
- H 配当性向 ☆ 24.47 % (同 上)
- I 棚卸資産滞留月数 ☆ 0.04 月 (同 上)
- J 完成工事高キャッシュ・フロー率 ☆ 1.23 % (同 上)

問 2

記号 (ア～ヤ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ク	エ	キ	ト	ナ	コ	ソ	シ	ム	採点 対象外
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★

※空欄 10 は問題の不備により解答不能のため、採点対象外となります。
受験生にとって不利にならないよう、何かしらの対応がとられる可能性があります。

予想採点基準	
☆ … 2 点 × 10 =	20 点
★ … 1 点 × 10 =	10 点
合計	<u>30 点</u>